



愛知県議会議員 国・県・市をつなぐパイプ役に!

平松としひで

県政報告
令和5年3月号



■県立高校への給食導入

現在の学校給食法(特別法も含む)において、給食提供の対象は小中学校、特別支援学校及び夜間定時制高校となっており、全日制の高校は給食を出すことを前提としていません。

しかし、共働きが増加した現代の子育て世帯において、朝早く起きて子どもの弁当を作ることは負担が大きく、今や愛情だけでなせることではないと考えます。

そこで、中高一貫校を導入する高校や、市町村の協力を得られる給食センターがある高校、あるいは信用できる委託先が見付かる地域の高校などへ、まずは**試験的な給食導入を図る**よう、本年3月6日、本会議場に立ち県に要請しました。

この事業の実施に当たっては、公的な給食センターの利用に限定したものではなく、実績や経験が豊富で信頼できる民間食品事業者も対象としてまいります。

給食を希望する高校生に提供できる仕組みを構築することは、保護者の負担軽減になるだけでなく、**成長期の子どもへ栄養バランスを**



考慮した温かい給食を安価に提供することに繋がります。そして子どもの貧困やネグレクト対策としても重要で、大いに意義のある事業だと考え事業化に向け取り組んでいます。

愛知の魅力向上の一環となるよう、これからもしっかり取り組んでまいります。

■ペット同伴避難所

南海トラフ地震がいつ発生するとも限らない我が地域。災害で避難するとき、ペットはどうなるか。東日本大震災では、飼い主とはぐれてしまったペットが野生化したり、ペット連れでは受け入れてくれない避難所が多数であるなど、ペット連れでの避難生活の難しさが多く報道されました。

国はこの経験から「**ペット同行避難**」を呼びかけています。ペット受入れ不可の避難所よりは安心できます。しかし「**同行避難**」とは飼い主が



ペットと同行し避難所へ行くものの、ペットは別の場所で係留されることを言います。飼い主と離れ離れになってはペットも寂しく、飼い主を呼ぶためいつまでも鳴き続けるペット。とても耐えられません。

人間とペットが同じ空間で避難生活を送ることを「ペット同伴避難」といいますが、私は家族の一員であるペットと同伴避難できる仕組み構築に向け、県当局と協議を重ねています。

もし南海トラフ地震が発生したら? その万が一に備え、ペット同伴避難所の整備を急ぐため、愛知県議会でもこれまで何度も取り上げてまいりました。ペットアレルギーの方も安心できるよう、またペットが泣き続けて安心して眠れない避難所とならぬよう「**日本一ペットに優しい愛知県**」を目指し、制度作りを進めてまいります。

下記の期間、臨時事務所に異動します

臨時事務所開設期間: 本年3月19日~4月9日
この期間は、野口事務所と本部事務所を閉め、スタッフ一同、臨時事務所に詰めています。ご来場の際は間違いないようご注意ください。

愛知県議会議員
平松利英 臨時事務所
〒491-0013 一宮市北小淵字南切46
TEL (0586) 52-5551
FAX (0586) 52-5651

政策や日々の活動報告を配信しています。下記QRコードから是非ご覧ください。



好機到来! さあ、大きく動き出したぞ 一宮!

リニア開通を控え、国・県・市の協働により市内各地で**ビッグプロジェクト**が始まっています。今回の県政報告では一宮市の現状と今後の見通しをご紹介します。

① 新濃尾大橋、完成間近!

平成24年に着工した新濃尾大橋、**完成予定は令和7年度と決定**しました。開通後には濃尾大橋の激しい渋滞が緩和され、尾濃大橋の渋滞緩和にも寄与し、経済交流が促進される**ビッグプロジェクト**です。

新濃尾大橋周辺の富田山公園は、利便性と川辺の自然環境を活かした大規模な公園整備計画を一宮市が進めています。

一宮市の整備計画に基づき、愛知県はもとより国の協力も仰ぎ、期待に応えられる賑わい溢れる公園整備を進めてまいります。

② 名岐道路整備について

昨年6月の愛知県議会本会議場において、名岐道路の整備計画について質問に立ちました。私が議題に取り上げた理由は大きく2つ。

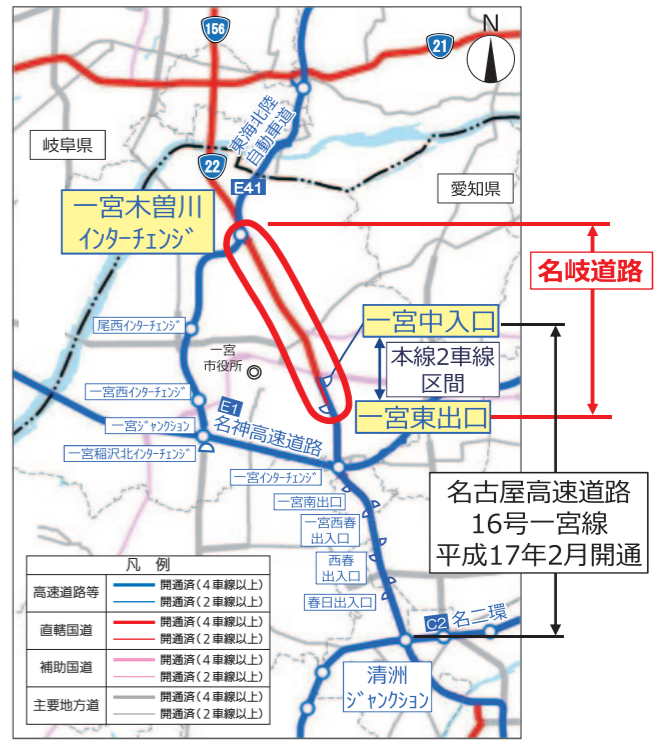
- 1、早期整備を目指すこと。
- 2、東西の分断化にならぬよう対策案を提示すること。

名岐道路は一宮市の更なる発展へ向けた**一大ビッグプロジェクト**です。名岐バイパスの渋滞緩和は市内の**交通集中による慢性渋滞の緩和に繋がり、経済発展と交通事故減少にも寄与します。**更に名岐バイパス盤下げにより、沿線へ店舗・**企業誘致が進むなど、その効果は絶大です。**

しかし東西の分断化に拍車をかけることは回避せねばなりません。

県は「地域の利用状況を踏まえた迂回路等を検討し、懸念解消に努める」と答弁しました。引き続き注視してまいります。

現在、愛知県が都市計画案を作成しており、今後は計画の審議、決定へと手続きが進みます。その過程において公聴会が開催されます。都市



つづきは中面へ

③ 愛知県一宮総合運動場プールについて

愛知県下に短水路(25m)公認の大規模プールがないため、尾張地域の短水路公認大会は何と静岡県の浜松市で開催されています。

現在の県営プールは規模としては大きいものの温水プールではないため、年間通じて7~8月の2ヶ月間しか利用できません。また老朽化により改修が必要ですが、県としては今後プールの損耗が進んだとしても大規模な改修は予定していないと知り愕然としました。



県が今後改修を予定していない県営プールを同規模の温水プールとして建設すれば、県も市も双方にメリットがあります。更には長・短水路大規模水泳大会を県内唯一、一宮市で開催することが可能となるため、愛知県水泳連盟も切望しています。平生は小中学校プール授業に、また健康増進用プールとして多くの方が利用でき、週末には大規模水泳大会の開催など、大いに賑わいが見込めるビッグプロジェクトです。

そこで私は県・市の幹部職員を引き合わせ、既に調整を始めています。そして本年3月6日、私は愛知県議会本会議場に立ち、今後のプールの在り方について愛知県に質問を投げ掛けました。また宿泊



日光川2号放水路計画概要図

施設(合宿所)の可能性についても投げ掛けました。

これらの事業実現に向け、責任を持ってしっかり取り組んでまいります。

④ 北尾張中央道の整備状況

現在、江南市から小牧市方面にかけて全線4車線化事業が行われています。引き続き一宮市内区間も4車線化事業が計画されています。また現在は22号バイパスから東側しか開通していませんが、更に西側に延伸に向け都市計画変更手続きが行われています。これにより毎朝江南・小牧方面へ向かう大渋滞が劇的に緩和され、イザというときには緊急輸送道路として命を守る道になるビッグプロジェクトです。

本整備事業についてはこの4年間で2度、本会議場で質問に立ちました。着実に進めてまいります。



江南市内の整備状況。次は一宮市内へ！

⑤ 日光川2号放水路

トヨタ紡績木曾川工場辺りから、毎秒60^トの水量を木曾川へ流す「日光川2号放水路」は令和2年に事業化され、着々と事業が進んでいます。

野府川から水を取り込む流入工、立坑工と、地下トンネルとなる涵体工、木曾川に排水する排水機場に大別されます。早期に治水効果を発揮するため、1期工として涵体工と流入工、立坑工を先行整備し、2期工として整備する排水機場が完成するまでの間、野府川や新丹波川から水を取り込み、一時的に涵体内部に貯留し、水位を調節する施設として供用します。

水害に悩まされてきた日光川流域が、線状降水帯が発生しても氾濫しない、安心して生活できる地域になる切り札、ビッグプロジェクトです。しっかり事業を進めてまいります。

⑥ 苅安賀駅付近 鉄道高架化事業

西尾張中央道の踏切遮断による交通渋滞解消と、苅安賀駅付近3ヶ所の踏切を除去するため、鉄道高架化事業に着手しています。

現在は線路北側に仮側道の整備を進めるとともに、観音寺駅付近の鉄道工事に着手しており、今後は仮線路を整備し、鉄道を一旦仮線路へと切り替え、最終的には現在の線路の位置に高架構造物を建設します。

踏切事故を減らし交通渋滞の劇的な緩和に寄与することはもちろん、騒音・振動対策にもつながるビッグプロジェクトです。



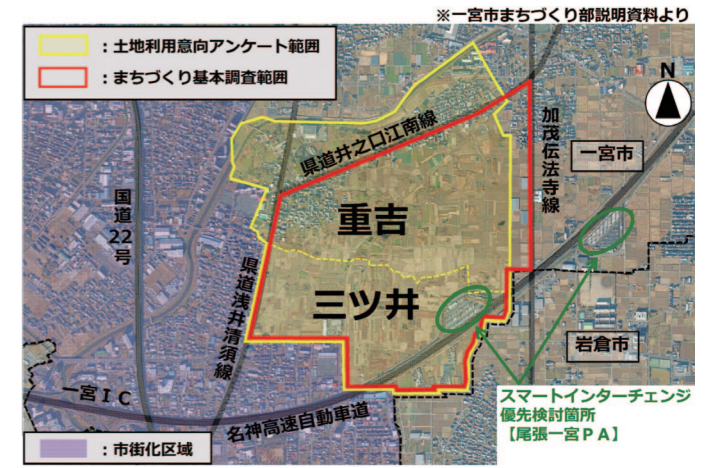
高架後のイメージ(主要地方道 岐阜稲沢駅)

⑦ 尾張一宮PAにスマートIC設置構想

現在、一宮市・岩倉市、愛知県、県警察、国、NEXCO中日本を交え、設置に向けた協議が進んでいます。また県と一宮市はPA北側周辺を市街化編入し、大規模な商工業誘致が実現できるよう協議を進めています。

一宮市の歴史上、過去最大の大規模開発となる見込みで、世紀のビッグプロジェクトと言えます。

江崎代議士秘書20年の経験を活かし、引き続き国・県・市のパイプ役としてしっかり務めてまいります。



⑧ 一宮警察署 建替え

令和2年6月議会に於いて、私は築後50年を経過し老朽化した一宮警察署の建替えについて、本会議一般質問で強く要請しました。

一宮市は県下でも有数の110番通報件数が多い地域であるほか、交通の要衝であるがゆえ、人身事故件数や交通事故死者数、刑法犯認知件数はほぼ毎年県下ワースト上位。特に住宅対象侵入盗認知件数(泥棒)は県下ワースト1。市民生活を脅かし続けている状況であるものの警察職員を増員するスペースはなく、限界に達した狭あい化。駐車場も不足し常に長蛇の列(質問時の状況)。

一宮市内には完成すれば環状高速道路となる名岐道路計画が進行しており、リニア開通後の一宮市は人の往来も激しくなる。警察署の建替えには地質調査から始まり、完成までに6~7年が必要とされているため、先を見越せば本年度から調査費を付けなければ間に合わない!と、知事や警察本部長に問題提起しました。

私の主張が認められ、令和2年度に一宮警察署の建替えが決定しました。大規模災害発生時などにおいて、西尾張地域の中核防災拠点としてその機能を発揮する「新一宮警察署」への建替えビッグプロジェクトが着々と進んでいます。



建て替える一宮警察署